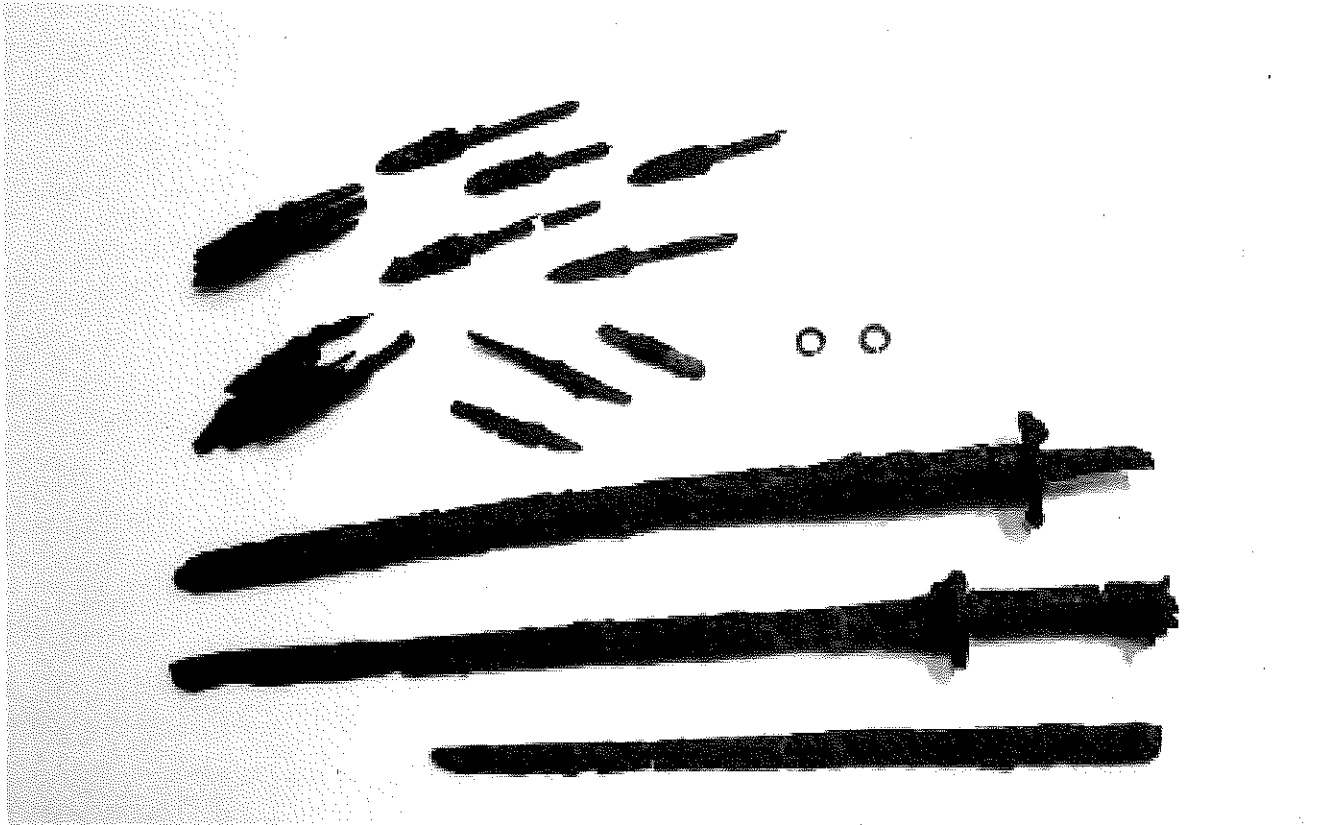


なか お ち か し き よ こ あ な ほ ぐ ん し ゅ つ ど ひ ん
中尾地下式横穴墓群出土品

【所在地】鹿屋市串良町有里507-1 鹿屋市串良町ふれあいセンター内歴史民俗資料室
霧島市国分上野原縄文の森2-1 鹿児島県立埋蔵文化財センター

【種別】県指定有形文化財（考古資料）

【指定年月日】平成25年4月23日



鹿屋市中尾地下式横穴墓群は、6世紀後半から7世紀初頭頃の地下式横穴墓8基から構成される。特に6号地下式横穴墓からは、象嵌装大刀、鉄剣、鉄刀、鉄鏃、耳環等、多様な副葬品が出土した。象嵌装大刀は、^{はばき} 鏃と^{つば} 鐔の両面と切羽縁金具部分に銀象嵌で心葉文や二重半円文を施したものである。

これらの出土品は、本県における古墳時代の副葬品の中でも屈指の情報量と質を誇る貴重な資料である。